

文京通イ信

ふみのみやこ

文部科学省認可通信教育
放送大学東京文京学習センター
機関誌 No. 4
平成29年7月発行



目 次

客員紹介（学び続けるみなさまへ）	客員教授	石隈 利紀	・・2
客員紹介	客員教授	鍛治 哲郎	・・2
東京同窓会活動の紹介	東京同窓会会长	齊藤 成吾	・・3
クラス会創立3年目を迎えました	クラス会支援委員会委員長	中村 由美	・・3
サークル紹介	源氏物語を読む会	尾崎 妙子	・・4
「第九」特別演奏会を終えて	ボールルームダンス研究会	飯嶽 美代子	・・4
学園祭（茗荷祭）の紹介	実行委員（東京文京SC）	杉本 宏	・・5
文京論壇（忘れがたき放送大学）	学園祭実行委員会委員長	齊藤 成吾	・・6
行事報告（29年2月～29年7月）		小原 一浩	・・6
行事予定（29年8月～30年3月）			・・7
編集後記			・・8

学び続けるみなさまへ

客員教授 石隈 利紀

はじめまして。石隈利紀と申します。今年の4月に客員教員になりました。宜しくお願いします。

私は平成28年の3月まで、筑波大学東京キャンパス文京校舎に勤務しておりました。放送大学と筑波大学が茗荷谷に合築した平成23年夏以来、放送大学のみなさんと同居していました。放送大学と筑波大学の関係者は「枝豆の会」と称する懇親会を、年に数回もっておりました。校舎のバルコニー(?)で枝豆を栽培して、それでビールを飲もうという主旨の会です。そこで放送大学東京文京学習センター所長の岡野達雄先生と知り合い、当時筑波大学副学長だった私は、校舎の環境向上に協働で取り組みました。例えば守衛さんが玄関に立ってみなさんをお出迎えしてくれること、地下の多目的ホールにピアノをおいて音楽を楽しむことができることなど、岡野先生と一緒にタクトを振って始めたことです。

さて私の専門領域は、学校心理学・カウンセリング心理学です。一人ひとりの子どもが、豊かな学校生活を通して成長することを援助するサービスの向上をめざして、実践と研究をしています。福島県子どもの心のサポートチーム協議会のメンバーとして、ささやかながら、子どもや学校の援助をしています。またこの9月に施行予定の「公認心理師法」の成立や公認心理師カリキュラム検討にも関わってきました。公認心理師は心理学の知識や技能をもって心理的な支援を行う者に与えられる、日本で初めての国家資格です。

それから私は映画を通してカウンセリングを考えることに关心をもっています。以前東京文京学習センターで、「寅さん、ハマちゃん、右京さんに学ぶ助け方・助けられ方の心理学」のお話しをしたことがあります。

これから、学校心理学やカウンセリング心理学で、みなさまの学びにお役に立てる機会があることを祈っております。

客員教員紹介

客員教授 鍛治 哲郎

60歳も半ばを過ぎて自らの研究について一言求められると、気負いはとうに失せていますから、まず自分の過去を振り返ることになります。

人文学のなかの文学研究、さらにそのなかのドイツ語で書かれた文学の研究が専門です。もっと絞れば20世紀初頭のドイツ語圏の文学です。なぜそのような外国語で書かれたものを、と尋ねる人がいれば、言葉に囚われたからでしょう、としか答えようがありませんが、20歳前後の学生に学び始めたばかりの異国の言語について何が分かるでしょうか。とはいっても、何事かを始める切っ掛けは、往々にして一方的な思い込みや、場合によっては誤解がもとになっているのも人生の真実でしょう。

言葉は何かの表現です。そこでは<何を>と<どのように>が問題になってきます。この二つは切り離すことはできませんが、以前は<どのように>に注目しつつ、それに<何を>を絡めて議論を組み立てることに専念していたように思えます。ところが、ここ10年程はむしろ<何を>に目が向くようになっています。初めて研究対象とした20世紀初頭の詩人の作品は、音韻効果と色彩、心身表現に富んだもので、その感官に訴えるところが魅力だったのですが、そこに舞い戻ったような気がします。もっともその詩人にかぎらず、どのような表現の特徴と時代の文学、思想、学問や文化との関連に関心は向いています。

第一次世界大戦をはさむ19世紀の末から20世紀初めの数十年は、心身を巡る学問、心理学や医学・生理学が著しい発展を遂げます。また怪しげな学問も流行ります。そのような環境のなかで当時の文学を見直そうとしています。とはいえた多分野にわたりますので文献の海に溺れないようにと、今はエルンスト・カッシーラという哲学者の文学・芸術観を時代の文学とどのように繋げて論じられるかを探っているところです。

東京同窓会活動の紹介

－東京文京学習センターとの関わりの中で－

東京同窓会 会長 齊藤 成吾

東京同窓会は平成3年2月設立ですから今年28年目を迎えることになります。東京第二同窓会として発足、大学側の「東京文京学習センター」への名称変更に伴い、当同窓会も東京文京同窓会と名称を変更し活動してまいりました。約2年前に東京第一同窓会と合併、東京同窓会と名称を変更し現在に至っております。

顧みて、当同窓会活動は放送大学東京文京学習センターの変化に対応しつつ、当同窓会活動を対応してきたといつても過言ではありません。また、当同窓会役員の中には、放送大学の第1期生(1989年卒)が6名もおられます。ここまでやつてこられたのは、当学習センターが楽しいものであったからだということが出来ましょう。放送大学学歌にある「生きるとは知ること、知ることはよろこび、親しい友と語り合い、共に学ぶ」に集約されているように思います。今後とも当学習センター・ライフを当SC関係者の皆様と協力しあい、より楽しいものにしていきたものだと考えております。

ところで、当同窓会活動の中で当学習センターに協力をさせていただいている一部を紹介させていただきます。

入学生募集への協力

「主な書店・図書館にリーフレット・ポスター等」の配架作業を行う、SCの学生募集業務活動の推進への協力を、平成24(2012)年から実施しています。

具体的には4月入学生募集のため冬期(12月～1月)、10月入学生募集のため夏期(6月～7月)にかけて配架業務です。以来7回の配架作業を継続実施しております。その作業は冬期及び夏期の寒さ・暑さ対策を伴うものですが、何より「この業務が大学のお役に立っている」と自負心が足元を軽くして、継続する源泉となつているとの本人弁です。

クラス会創立3年目を迎えました

－活動報告と次回の開催案内、会員募集－

クラス会支援委員会委員長 中村 由美

2017年2月は中邑賢龍教授から規律重視社会を問いかける貴重な話を伺い、大曾根寛教授も一時飛び入り参加をされ、立教セカンドステージ大学から聴講生も訪れました。5月には放送大学の学生として会員になられた岡部洋一前学長から、放送大学で学ぶ意義をお話頂きました。さらに、学生による学習体験の発表やブレインストーミングなどを用いて、学びの気づきや新たな着想を共有し、キャンパスらしい交流が図られています。

学びの主体は個々人ですが、学習速度や目的が異なってもクラス会は自助互助が交差し、多彩で豊かな自律的学習への実験場を作り出しています。大学教育の変化にともない学習基礎を補うリメディアル教育や初年次教育が意識されるなかで、クラス会でも課題に取り組むためのリサーチリテラシーを学び深める場面が垣間見られます。

昨年度末には、いち早くクラス会卒業生から喜びの手紙が学習センターに届きました。クラス会創立から11回開催し、次回は以下の通りです。皆様のご参加をお待ちしています。(途中入会可)

[16年度入学者対象・クラス会開催のお知らせ]

(日時) 8月27日(日) 14:00～17:00

(会場) 東京文京学習センター 多目的講義室1

(懇談) 学習の魅力、意外性、失敗談、今後の目標、他

[15年度入学者対象・クラス会開催のお知らせ]

(日時) 9月3日(日) 14:00～17:00

(会場) 東京文京学習センター 講義室2・3

(懇談) 体験学習トーク、卒研、外国語、放送・面接授業

[17年度入学者対象・クラス会開催のお知らせ]

(日時) 11月予定(午前・前期 / 午後・後期)

[クラス会会員の募集] Email classkai@ouj.ac.jp

件名「クラス会入会希望」と明記の上、

本文に、入学年度と前期・後期、所属、

学生の種類、学生番号、氏名、メール

アドレスを記載してください。



源氏物語を読む会

尾崎 妙子

平生13年に発足した「源氏物語を読む会」は、市井に膾炙されているいわゆる「須磨がえり」などはさらに無く、現在「乙女」の段を読み進めて居ります。紫式部によっての雅びの世界もさることながら、中国の故事にふれることもあり、その深く広い知識に加え虚々実々のドラマ性の中にご自身の思慮のかおりも感じられ、その美しい文体に魅せられながら勉強をつづけて居ります。

そして幸運にも私は、さる尊いお方のご講話から京都の勧修寺の事を知りました。勧修寺は源氏物語にある明石の上の実家があつた処であり、源氏の君とのゆかりのところです。更に後日のご講話で「今昔物語」に通じる箇所を知りました。

勧修寺は醍醐天皇が母君を想い弔うためにその生家である宮道氏屋敷跡に創建されたものだということです。

私は平成18年盛夏、勧修寺参詣してから、醍醐天皇が母君の近くにと望まれた「醍醐天皇後山科陵」に詣でて参りました。私達勉強会では原文を声高らかに音讀して居ります。現代語訳は小学館本を参考にして居りますが目讀では全く意味不明な所も音讀をすると内容が浮かび上がって来るのは不思議です。発声は脳の活性化を伴い、年齢を経ての誤咽の予防にもなるとの事で楽しく心身をきたえて?居ります。

興味をお持ちの方は、ご遠慮なく、ご参加お待ちして居ります。

ボールルームダンス研究会の紹介

飯嶌 美代子

ボールルームダンス研究会は昨年同好会から正式なサークルに昇格できました。社交ダンスを踊れるようになりたい、踊ることが大好きという学生が集まっているサークルをご紹介いたします。

宫廷舞踊に始まる社交ダンスには長い歴史と変遷があり、私達がダンスに親しむメリットは次の様に考えています。

- 1) 社交ダンスは踊って楽しむことも、見て楽しむこともできます。
- 2) アカデミックにダンス音楽や歴史、文化に関心を持つこともできます。
- 3) 言語が違う国の人々とも、社交ダンスを踊り、交流することができます。
- 4) 適度なスポーツとして、健康維持に役立ちます。
- 5) 認知症の予防に最も効果的という学説に期待しています。

日頃私達がしている活動はおおきく2つに分かれます。平生の地道な練習と年に数回のイベントになります。

<平生の練習>週1回程度、地下の多目的教室で練習しています。内容は次のような構成です。

- A) 準備体操（転倒しても外傷を妨げる為）
- B) 基礎練習（ワルツのボックス、ルンバウォーグ等）
- C) テーマ練習（当日のメインの種目、ステップ）
- D) ダンスタイム（自主練習を含む）

<イベント>

- A) 茗荷祭に参加し、ダンスパーティを主催。
- B) 某年間等でダンスホールで踊り楽しむ。
- C) 学外のダンスパーティ参加で実力向上。

初心者歓迎。会費は月千円です。会員募集中。

放送大学南関東ブロック7学習センターによる ベートーヴェン「第九」特別演奏会を終えて

放送大学 「第九を歌う」 プロジェクト実行委員 杉本 宏

2017年3月26日、あいにくの冷たい春の小雨の中、東京藝術大学奏楽堂は暖かい拍手の渦に包まれておりました。放送大学南関東ブロック7学習センターによる、ベートーヴェン「第九」演奏会を、何とか最後まで歌い通せた歓びをじっとかみしめる放送大学生252名の姿がそこにありました。心の高ぶりに感極まった合唱団員の一人として、この演奏会に至るまでの約2年間の学びの道のりをご紹介させて頂きます。

放送大学初の試みのこの壮大なプロジェクトは、ここ文京で誕生しました。2014年3月、文京で開かれた所長の送別会で、田崎前所長(多摩)が「放送大学で第九を歌えないだろうか」と独り言、一同「…」、宮野所長(千葉)「できないことはないけれど…」、池田所長(神奈川、現副学長)「面白そうですね」と続いたのがすべての始まりだったとか。「…」は「第九合唱」の難しさを熟知ならではのご発言で、実際それは文京での練習開始即、実証されました。文京の学びは永原客員教授による「永原ゼミ」として2015年8月に始動、10月にはピアノ伴奏や各パートの先生方をお迎えして本格練習が始まりました。当初メンバーは「第九」どころか「合唱」未経験者も多く、ド・レ・ミの階名を読むのも一苦労!まずは「第九」を歌う「身体づくり」から始めました。ドイツ語の発音や高い音程にもがきながらも月3~4回の練習を楽しみに友が友を呼び、長野、静岡からも駆けつけて58名の合唱団に育ちました。延べ37もの面接授業で、ベートヴェンの生きた時代の社会背景も学びながら、昨年8月より文京で10回にわたる合同練習開始。各地から集まった合唱団員252名の声が練習を重ねる毎に1つの大きな輪に高まっていくのを実感しながら、ついに本番その日を迎えました。直前リハーサル。高い壇上から臨む奏楽堂の美しいこと、広いこと。ああ、ついにきたんだ。年齢も違えば人生経験も違う我ら252名でしたが、この緊張感と歓びは同じだったと思います。そして本番。指揮者の山本純ノ介先生が、そしてオーケストラが我々を合唱へといざないます。高まる気持ち、その声は直前リハーサル時の何倍も力強いものになりました。あっと言う間の第4楽章25分、会場からは温かい拍手が。これまでの2年間支えてくれた家族の拍手、そしてご指導頂いた永原先生や音楽指導の先生方からの拍手、文京での練習を全面的にご支援頂いた岡野所長と事務所の方々からの拍手。何という満ち足りた気持ち、達成感でしょう。皆様、これまで長きにわたりご指導、ご支援を頂き、本当にありがとうございました。



東京文京 SC 学園祭(茗荷祭)の紹介

学園祭実行委員会委員長 齊藤 成吾

今年の学園祭は9月16日(土)&17日(日)の開催とし、昨年同様、学園祭実行委員会(東京文京SC・学生サークル・同窓会の三位一体)主催による開催と決定いたしました。同時に昨年度に引き続き、東京文京SCを拠点とした地域にあるべき学園祭を目指し、地域在住の皆様のより多くのご参加をいただき継続した取り組みを進めてまいります。

顧みて、昨年度はいくつかのサークル・同好会の不参加がありましたので、原則として全サークル・同好会・学生・SC関係者・同窓会関係者の皆様のご参加とご協力による学園祭にしたいものだと考えております。

今年の学園祭実行委員会(第1回)を6月18日(日)に開催、下記の通りとする方針を決定しましたので、今後の学園祭実行委員会でその詳細を決定していく所存です。

- 1) 学園祭メイン会場は地下1階多目的講義室1&2、及び2階講義室とする。
地上1階、地下1階のフロアの有効利用を検討する。多目的講義室1はイベント専用会場として対応する。
- 2) 学園祭受付は地上1階のみとし、1階入口に学園祭会場ご案内を設置する。
- 3) 東京文京学習センターのすべてのサークル・同好会に参加をお願いする。
- 4) 地域関係先へのご案内とご参加を呼びかけるものとする。

多くの皆様のご参加とお力添えをご期待申し上げます。



馬9頭の墨絵・早描きショー(2016年度学園祭)

文京論壇

忘がたき放送大学

小原 一浩

甥からハガキが届いた。放送大学の大学院へ合格したこと。自身、阪外大(大阪大学)卒業から始まり、東京在勤時に四度目の学士入学した放送大学、平成4年に卒業して既に25年が経過。生涯学習社会に最適の放送大学を多くの人に勧めたが唯一の入学者だった「甥」が「院」へ進む。嬉しい限りである。帰阪、定年退職後、地元の市議会議員を務めている今でも、BS放送で番組を視聴している。喜寿(77歳)を迎えた今、昨日、再び出願票を提出した。再来年の統一地方選への意向を尋ねられたら、迷わず「生涯現役」と答える。

忘がたきかな「放送大学」更なる発展を祈りたい

教養を
深めたい!
学位を
取りたい!
資格取得を
目指して!
興味ある
科目だけ!

●放送大学は、正規の大学(通信制)です。
●卒業を目指す「全科履修生」は、4年以上在学し、124単位以上を取得すれば、学士(教養)の学位が取得できます。
●興味のある科目を取得する「選科履修生(在学期間:1年)」と「科目履修生(在学期間:半年)」があります。
●入学は、4月入学と10月入学があります。

放送大学ではいろいろな学び方があります。

- ▶授業は、テレビ・ラジオ・インターネットで自宅で学ぶ。
- ▶最寄りの学習センターで学ぶ。
- ▶学習センターで面接授業(スクーリング)を受ける。

東京文京学習センター(東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅から徒歩3分)
〒112-0012 東京都文京区大塚1-29-1 TEL03-5395-8688 FAX03-5395-8681



「学びたい」と、
思つたら。

まずは、[放送大学](#)で検索

 **放送大学** 東京文京学習センター



○ 平成29年 2月～7月までの行事報告

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 2月 4日 (土) | 公開講演会 (森 津太子先生) |
| 2月 5日 (日) | 面接授業終了 |
| 2月 10日 (金) | 公開講演会 (安藤 政輝先生) |
| 2月 12日 (日) | クラス会 (16年度前期・後期合同) |
| 2月 18日 (土) | 公開講演会 (隈 研吾先生) |
| 2月 24日 (金) | 文京講演会 (宮本 信也先生) |
| 2月 25日 (土) | 文京講演会 (渡邊 守章先生) |
| 3月 1日 (水) | 避難訓練 (筑波大学と合同) |
| 3月 4日 (土) ~ 5日 (日) | 教員免許更新講習修了認定試験 |



①



②

- | | |
|------------|--------------------------------|
| 3月 11日 (土) | 退任記念講演会 (森 義仁先生、久 智行先生) 【写真①②】 |
| 3月 25日 (土) | 卒業証書・学位記授与式 (NHKホール) |
| 3月 26日 (日) | 南関東合同プロジェクト「第九」を歌う (東京藝大・奏楽堂) |



③



④

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 4月 9日 (日) | 入学者の集い 【写真③④】 |
| 4月 15日 (土) | 面接授業開始 (8月4日まで) |
| 4月 21日 (金) | 面接授業追加登録 |
| 5月 28日 (日) | クラス会 (17年度前期) |
| 6月 18日 (日) | 卒業研究ガイダンス |
| 6月 25日 (日) | 大学院修士全科生入学希望者ガイダンス |
| 7月 1日 (土) | 大学院博士全科生入学希望者ガイダンス |
| 7月 9日 (日) | 公開講演会 (岩永 雅也先生) |
| 7月 21日 (金) ~ 22日 (土) | 単位認定試験 (大学院) |
| 7月 23日 (日) ~ 30日 (日) | 単位認定試験 (学部) |

○ 平成29年 8月～平成30年3月までの行事予定

8月 4日 (金)	面接授業終了
8月 5日 (土)	公開講演会 (向田 久美子先生)
8月 6日 (日)	公開講演会 (為末 大先生)
8月 12日 (土)～15日 (火)	夏季臨時閉所
8月 19日 (土)～20日 (日)	教員免許更新講習修了認定試験
8月 27日 (日)	クラス会 (16年度)
9月 3日 (日)	クラス会 (15年度)
9月 7日 (木)	学生研修旅行
9月 16日 (土)～17日 (日)	学園祭 (茗荷祭)
9月 24日 (日)	卒業証書・学位記伝達式
9月 29日 (金)～30日 (土)	看護師資格取得単位認定試験
10月 7日 (土)	臨時閉所 (大学院入学 (筆記) 試験)
10月 8日 (日)	入学者の集い
10月 14日 (土)	面接授業開始 (2月2日まで)
10月 20日 (金)	面接授業追加登録
11月 16日 (木)～30日 (木)	通信指導提出期間
11月 26日 (日)	午前 クラス会 (17年度前期) 午後 クラス会 (17年度後期)

平成30年

1月 19日 (金)～20日 (土)	単位認定試験 (大学院)
1月 21日 (日)～28日 (日)	単位認定試験 (学部)
2月 2日 (金)	面接授業終了
3月 3日 (土)～4日 (日)	教員免許更新講習修了認定試験
3月 24日 (土)	卒業証書・学位記授与式 (NHKホール)

編集後記

機関誌も、やっと第4号を発行できました。機関誌も発行の回数を重ねるにつれて皆さんからの反響も、少しあるようになりました。第3号を発行して約1ヶ月位たった時のことです。客員教授の久智行先生を通じて大正14年生まれの女性の方から、こんなお便りをいただいたので、ご紹介したいと思います。

文京通信、拝見しました。先生の文章の中で読めない漢字がありました。『腥い』です。月に星だから『あかるい』かな～と思ったのですが、違いました。久しぶりに漢和辞典を引っ張り出しました。それより、事務長さんのお書きに成った『学習センター周辺の歩き方』を見て、本当に懐かしく思いました。もうすっかり忘れていたのですが、80年ぐらい前に植物園の傍に住んでいたのです。その頃はまだ電車も通っていなくて、植物園も裏から誰でも入れたのです。

『ありがとうございました』、とお伝えください。

発行者 東京文京学習センター 機関誌「文京通信」編集委員会

〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1